

2023年3月13日

各位

SBS即配サポート株式会社

## 電子マニフェストシステム<sup>\*1</sup>の運用支援を開始しました —EDI方式<sup>\*2</sup>による当社システムとの連携でお客様の負担を軽減—

SBS即配サポート株式会社（社長：鎌田正彦、本社：東京都江東区）は、3月1日、お客様の電子マニフェストの導入・運用の支援を開始したことをお知らせいたします。



事業者が産業廃棄物の処理を委託する場合、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）」によりマニフェスト（産業廃棄物管理票）の交付が義務付けられています。日本では1998年からインターネットによる電子マニフェストが制度化されており、環境省は、廃棄物処理システムの透明化や不適正処理の原因究明の迅速化等により普及拡大を進めています。

マニフェストは紙の場合、5年間の保存義務があり保管場所も必要となりますが、電子に移行する事でお客様ならびに当社において、以下の比較表のような事務作業効率化などのメリットがあります。

|          | 運用比較        |                                     |                             |                       |
|----------|-------------|-------------------------------------|-----------------------------|-----------------------|
|          | 作成          | 返却管理                                | 保存                          | 交付状況報告書               |
| 紙マニフェスト  | 排出事業者       | 排出事業者が報告期限までに処理業者から返却されているか、照合確認が必要 | 5年間の保存義務（保管場所が必要）           | 排出事業者が報告書を作成・提出       |
| 電子マニフェスト | 当社にて作成代行が可能 | 処理業者からの終了報告が報告期限までにない場合、通知で確認が可能    | JWNETに5年間保存マニフェスト情報を常時確認が可能 | 提出不要（JWNETが管轄行政に自動報告） |

今回、当社環境事業部が導入した株式会社ビートルマネジメントの「bee-net system」は、EDI方式により、排出事業者と情報処理センターのサーバ間で電子マニフェスト情報のデータ授受が可能です。電子マニフェストシステムを導入いただければ、「bee-net system」より、廃棄物回収時のマニフェスト作成に関する運用面において、当社が支援する事が可能となります。

当社環境事業部は、SBSグループにおける「静脈物流」のプロフェッショナル集団として、循環型社会の構築を目標に取り組んでいます。1997年の発足当初より蓄積した廃棄物処理のノウハウを生かし、お客様にとって有益な各種サービスの提供に努めてまいります。

\*1 電子マニフェストシステム（JWNET）は、廃棄物処理法第13条の2に基づき、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（内閣府所管）が全国で一つの「情報処理センター」として指定され、管理・運営されています。

\*2 EDI方式は、JWNETに直接接続して操作するWEB方式と異なり、独自の機能などを付加して設計されたシステムとの連携によりJWNETに接続する仕組みです。

以上

## ■ご参考

### <SBS 即配サポート株式会社概要> (2023年2月1日現在)

本 社：東京都江東区新砂1丁目5番29号  
代 表 者：代表取締役社長 鎌田 正彦  
設 立：1993（平成5）年3月  
親 会 社：SBSホールディングス株式会社（持株比率100%）  
資 本 金：1億円  
従 業 員 数：560名  
拠 点 数：49拠点（本社、即配事業部13、AZ事業部25、環境事業部5、  
KR事業部6（うち海外1か所）

事業内容：「SBS即配便」と「EC宅配」を主軸としてスポット便やチャーター便など多様な配送サービスを提供する法人専属即配・宅配事業。自社の中間処理工場を保有し廃棄物の収集・運搬、再資源化の処理等で持続可能な循環型社会の実現に挑む「静脈物流」のプロフェッショナル集団として多彩な廃棄物処理サービスを提供する環境事業。小売業向け専用物流センター運営と店舗什器（樹脂・木工）等の製造・メンテナンスや刺繍・スパングル・ラインストーン等アパレル向けの高度な加工サービスを提供するKR事業。

U R L：企業サイト <https://www.sbs-sokuhaissupport.co.jp/>  
即配便サイト <https://www.sbs-sokuhai.com/>  
環境事業部サイト <https://kankyo.sbs-sokuhaissupport.co.jp/>

### <環境事業部 東雲事業所概要>

所 在 地：〒135-0062 東京都江東区東雲2-10-31  
許 可 番 号：東京都13-20-014605  
処理方法・能力：破碎4.42t/日、粉碎（木くず）4.68t/日、圧縮梱包117.00t/日、  
破碎（廃蛍光ランプ等）23,400本/日  
産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類、②金属くず、③ガラスくず、コンクリートくず  
及び陶磁器くず、④紙くず、⑤木くず  
その他サービス：東京23区一般廃棄物収集運搬

### <環境事業部 横浜事業所概要>

所 在 地：〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦2-2-5  
許 可 番 号：横浜市05620014605  
積替え保管面積：11.55㎡ 保管上限：22.25㎡  
処理方法・能力：破碎421.20t/日、圧縮141.00t/日、熔融1.00t/日、切断10.22t/日  
産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類 ②金属くず ③ガラスくず、コンクリートくず  
及び陶磁器くず ④紙くず ⑤木くず ⑥繊維くず ⑦かれき類  
その他サービス：機密情報抹消サービス（OAリサイクルセンター）

### <環境事業部 辰巳営業所概要>

所 在 地：〒135-0053 東京都江東区辰巳3-12-1  
許 可 番 号：東京都13-10-014605（積替え保管施設）  
積替え保管面積：1331.42㎡ 最大保管高さ：2m  
産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類 ②金属くず ③ガラスくず、コンクリートくず  
及び陶磁器くず ④木くず ⑤汚泥

## <株式会社ビートルマネジメント概要>

本 社：福岡県北九州市八幡西区陣原 2 丁目 8-2

代 表 者：代表取締役 西原 靖博

資 本 金：3,000 万円

グループ会社：株式会社西原商事（廃棄物処理業）

株式会社ビートルエンジニアリング（産業廃棄物処分量）

事業内容：グループ会社で培った廃棄物処理業のノウハウを最大限に活かした廃棄物情報管理システム【bee-net system】の開発・運営及び廃棄物処理に係るすべての事務作業代行・サポート事業。また、排出事企業をマッチングし共通の問題点を解決しながら非競争領域の最適化を図ることで低コスト運用をご提案。

U R L：<http://beetlemanagement.com/>

### 【bee-net system について】

廃棄物に関する情報を管理するクラウドサービスとして、産業廃棄物・一般廃棄物・有価物など、廃棄物に関する全ての情報を WEB 上で管理し、廃棄物処理に関する事務作業に直結したシステムです。マニフェストの総合的な管理が可能であり、EDI 方式による JWNET と連動できる仕組みです。

### ■bee-net system導入に関するお問い合わせ先

S B S 即配サポート株式会社

環境事業部 辰巳営業所 tel：03-6457-0403 [e-mail：skhi-kankyo@sbs-group.co.jp](mailto:skhi-kankyo@sbs-group.co.jp)

### ■本リリースに関するお問い合わせ先

S B S ホールディングス株式会社

I R ・ 広報部 e-mail：[contact11@sbs-group.co.jp](mailto:contact11@sbs-group.co.jp)

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。